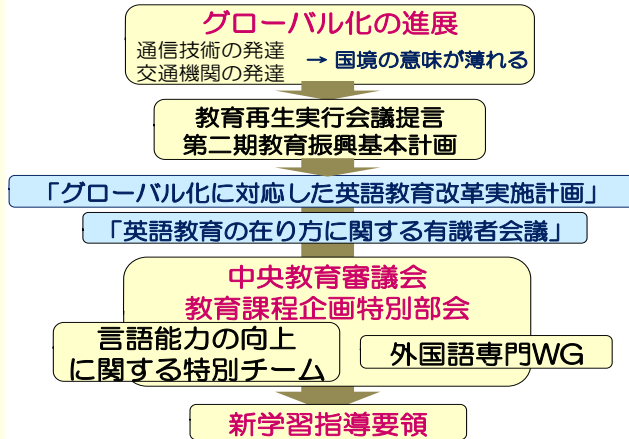


# 小学校外国語活動通信

鳥取県教育委員会事務局  
小中学校課  
小学校外国語活動担当  
平成27年12月24日 No.3

## 最新情報！ 次期学習指導要領(H32全面実施)の具体的な方向性

英語教育改革に関する経緯



平成27年8月26日に中央教育審議会教育課程企画特別部会が、改訂の具体について論点整理を行いました。懸案の授業コマ数については、高学年の英語科の時間確保が難しいため、短時間学習の課題についても触れていますが、最終的には、平成28年当初までに教育課程全体を見通した観点から一定の結論が出される予定です。

※論点整理 URL：[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/sonota/1361117.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/sonota/1361117.htm)

学年	小学3・4年生	小学5・6年生
内容	<b>外国語活動</b> として ・外国語に <b>慣れ親しみ</b> 、外国語学習への <b>動機付け</b> を高める。	<b>教科</b> として <b>系統的</b> に指導 ・語彙や表現を繰り返し活用した言語活動 ・自分の考えや気持ちなど、聞き手を意識しながら伝えようとするコミュニケーション活動等を展開し、技能（話す・聞く）の <b>定着</b> を図る。 <small>*ただし、「読む」「書く」においては慣れ親しみ、興味を育てる。定着を求めない。</small>
	「聞く」「話す」の <b>2技能</b> 中心に活動	<b>4技能</b> を扱う 知識・技能を学ぶ
時間	年間35時間程度	年間70時間程度

## 実践者の声

## 先進的な取組の成果と課題

～文部科学省指定  
英語教育強化地域拠点事業より～

### 成果



3・4年生から様々な英語表現に慣れ親しませることで自然と「書く・読む」に対する意欲を持ち始める児童が増え、高学年でそれを導入することは効果が高いと感じました。



アルファベットの小文字の習熟度が大幅に上がりました。



音についての認識を深めたことが、単語を覚える力にもつながっていると思います。

### 課題



アルファベットや英単語をただ単に繰り返し書く活動を行った場合、児童に意欲の低下が見られました。



高学年では「書くこと」「読むこと」の指導が加わったが、小学校と中学校の目標の違いを、小中の教員がお互いに理解し、中学校での指導に生かしていく必要があります。

平成32年度以降の英語科及び外国語活動に対するイメージをもつことができますね。

# 第1回小学校英語教育推進リーダーによる指導力向上研修を行いました！

平成27年12月1日に中核教員34名を対象にした研修を行いました。この研修は、中央研修を受講した推進リーダー3名が、中核教員に中央研修の内容の伝達を行うものです。今後中核教員は、あと2回の研修を受け、各学校での研究授業・協議等を通じて、研修した内容を校内で共有し、外国語活動の推進を行っていきます。内容の一部を紹介します。

## 教室英語

- ジェスチャーや絵を使いながら単語を使うと、意味が良く理解できる。（日本語での説明が不要）ジェスチャーは大きくするのがポイント。
- 活動をするときは、事前にデモンストレーションをして、日本語の説明を減らし、英語の理解を高める。
- 子どもが日本語でたずねても、英語で答えることで英語に触れる機会が増える。
- 難しい言葉、馴染みのない言葉等は、日本語を使って説明したほうがよい。

## 絵本の読み聞かせ

- 絵本をただ読むだけでなく、途中で質問をしたり声の大きさを変えたり、子どもを参加させたりしながら読み進めていく。
- 絵本の読み聞かせは、子どものリスニングスキルを向上させる機会となる。
- 読み終えた後は、絵本に関する質問をして、英語でのやりとりを楽しむ。

グループで、絵本の読み聞かせをしました。



ペアで演習や話し合いを行いながら研修が進みました。

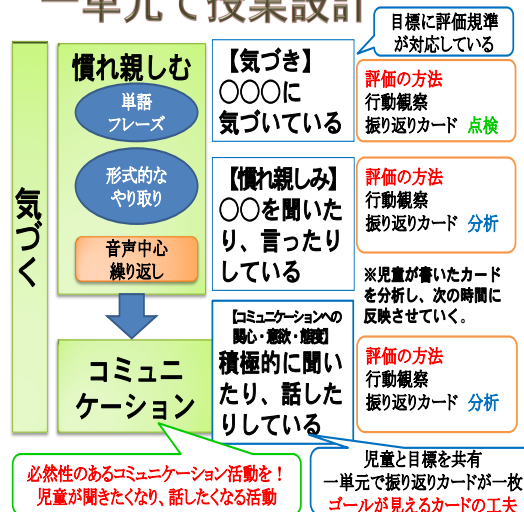


## 一単元で授業設計を

鳥取県教育委員会

コミュニケーションへの関心・意欲・態度をねらいとする活動を単元の最後に設定します。その活動に必要な言葉やフレーズを、その前の慣れ親しみの活動で扱います。形式的なフレーズを使った相手とのやりとりは、慣れ親しみの活動ととらえましょう。気づきは、いずれの活動においても設定することができますが、単元の中で適切に設定しましょう。

## 一単元で授業設計



## ALTとの打合せ

- プライベートに関する質問は、ALTのことをよく知るまで避けなければならない。
- ALTの行動で、日本ではマナー違反に当たることについては、理由を話してからその行動をやめるように伝える。

使ってみよう！クラスルームイングリッシュ

Are you ready? (準備はいい?)

Repeat after me. (私の後に繰り返して言ってね)

Open your textbooks to page six. (テキストの6ページを開きましょう)

Here you are. (はい、どうぞ<手渡す>)